



葉山町

議会だより

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046-876-1111
編集 議会広報特別委員会 発行日 平成21年1月25日

NO.

95

第4回（12月）定例会

- 第4回定例会関連記事 3～5ページ
- 一般質問（12人登壇）..... 6～11ページ
- 委員会レポート 12～13ページ
- 地域活動を訪ねて 14ページ

開かれた議会を目指して



迎春

葉山町議会議員一同

年頭のご挨拶



町議会議長

笠原 俊一

明けましておめでとう
ございます。平成21年の
年頭にあたり、謹んで新
年のご挨拶を申し上げます。

昨年、政治・経済・社会の
すべてで面で変化と混乱
と不安の現象が見受けら
れました。

本町においては、昨年
の年頭から町長選と町議
会議員の補欠選挙があ
り、町民の期待を背にそ
れぞれ新人が誕生いたし
ました。

そして、明るいニュー
スとしては北京オリンピ
ックのセーリング競技に
町内、堀内在住の女性が
日本代表として大いに健
闘されたことでした。

さて、本町は平成21

年度中に町制85周年
(平成22年1月1日)を
迎えることとなります
が、地方分権が加速さ
れる中、地方自治体は
均一的発展から個性発
揮の時代となり、「地域
主権」「地域経営」の実
現を図ることが大切と
なってきました。

昨年の11月17日、神
奈川県地方分権改革推
進会議（知事と県議
長・2政令市長と議
長・市長会代表の首長
と議長・町村会代表の
首長と議長の10人で構
成）が開催され私も出
席させていただきまし
た。

話題となっている道

路特定財源の一般財源
化に伴う地方交付金は、
税源移譲で行うよう、
地域活性化のために地
方税拡充を求めること
や、今年勧告が行われ
る予定の第2期地方分
権改革に対して、地方
への事務権限の移譲を
さらに進めること。ま
た、国と地方への税源
配分を早急に「5対5」
にすることなどを求め
る提言を取りまとめ麻
生太郎首相ら政府に対
し要望をいたしました。



私たちが町議会として
も、こうした時代の潮
流に因應するため、議会
存在の理念や進むべき
方針、議会民主化の基
本を定める「議会基本
条例」制定の検討を進
めております。

そして、今春には皆
様に原案をお示しした
上で、ご意見を頂き制
定したいと考えており
ます。

平成21年度の町予算

は、大変厳しい財政状

況になると思われます
が、皆様が求める「住
みよい・暮らしよい・心
豊かなまちづくり」に
向け、議会と行政が互
いに知恵を出し合い、
ご期待に応えられるよ
う全力をあげて取り組
んでまいります。

この一年が、皆様に
とって輝かしい年であ
りますよう祈念いたし
ております。

**開かれた
議会に向けて**
～ 議会中継開始
のお知らせ～

議会中継が始まります

平成21年第1回議会

本会議（2月24日予定）

より、議会中継が始ま
ります。本会議中は庁
舎1階ロビーの 모니터
ーとインターネットで
生中継をご覧になれま
す。また、インターネ
ットでは後日、録画映
像もご覧になれます。

議員が、行政が、ど
のような議論をかわし
ているのか。開かれた
葉山町議会をご覧ください。



本会議の様子がご自宅で

視聴方法

- ① 定例会本会議中は、
庁舎1階ロビーにて
生中継の放映をご覧
下さい。
- ② インターネットでは、
中継と録画映像が、
町議会のホームページ
からご覧になれま
す。

注1：…編集期間（おおむね1週
間）を経た後アップされます。
注2：…インターネット視聴の推
奨環境は以下のとおり
パソコン
OS…Windows2000/XP以
降のモデル推奨
ネットワーク
ブロードバンド・ダイヤ
ルアップ接続、ISDN
(64Kbps) 接続でも、便利
用いただけます。
※回線環境や機器の状況によ
り視聴できない可能性も
あります。



役場1階ロビーのモニター

こんなことが決まりました

第4回 12月 定例会

第4回定例会は、12月5日から16日まで開催しました。一般質問は12人の議員が登壇し、当面する行政課題をただしました。議案は葉山町一般会計補正予算をはじめ、障害者支援施設に関する条例等10件を審議しました。

◎平成20年度葉山町一般会計補正予算(第3号)

◎葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例

◎教育委員会委員の任命について

賛成多数で可決。

産科医療補償制度が創設され、出産に係る費用の上昇が見込まれることから、被保険者の負担を考慮し出産育児一時金の額を引き上げるものです。全会一致で可決。

篠原知氏を再任するものです。全会一致で同意。

◎平成20年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◎葉山町立の障害者支援施設に関する条例の一部を改正する条例

問 特A重油の不足額を計上しているが、月単位契約ならば、今後も原油価格変動の影響があるか。

◎平成20年度葉山町下水道事業特別会計補正予算(第3号)。

◎葉山町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

問 10月に焼却炉の改修工事を行っているが、重油使用量に影響は。

◎葉山町税条例の一部を改正する条例

◎葉山町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

問 葉山はばたきの移転先の改修工事費用は町と指定管理者の折半なのか。

地方税法等の一部を改正する法律が20年4月30日に公布され、寄付金控除の対象が拡大し、並びに公的年金等から住民税の特別徴収が行われることに伴い改正を行うものです。賛成14人で可決。

◎葉山町税条例の一部を改正する条例

◎葉山町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

問 葉山はばたきの移転先

◎葉山町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

◎葉山町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

問 葉山はばたきの移転先

◎葉山町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

◎葉山町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

問 葉山はばたきの移転先

◎葉山町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

◎葉山町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

問 葉山はばたきの移転先

◎葉山町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

◎葉山町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

問 葉山はばたきの移転先

補正予算質疑

平成20年度補正予算(△は減額)

歳入歳出予算の総額

(単位：千円)

会計名	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額	
一般会計	9,151,302	15,634	9,166,936	
特別会計	国民健康保険	3,382,179	34,783	3,416,962
	後期高齢者医療	633,679	90	633,769
	老人保健医療	356,124	—	356,124
	介護保険	2,152,385	△14,010	2,138,375
	下水道事業	1,396,039	0	1,396,039
	小計	7,920,406	20,863	7,941,269
合計	17,071,708	36,497	17,108,205	

である。

問 町長が時間外手当を減らしていくと示したにも関わらず、670万円も増額されているが。

総務部長 20年度の時間外手当が特別多いということではない。

問 要保護・準要保護について基準緩和の考えは。

保健福祉部長 理由を問わない支援センターと、病気になるいは就労などの理由でお預かりする違いがあり、金額も違う。

問 国の制度変更に伴う

保健福祉部長 補助率は未定だが、国の補助金対象になる。

問 保育園と子育て支援センターの一時預かりの違いは。

保健福祉部長 理由を問

システム開発費に、国からの補助は出るのか。

保健福祉部長 補助率は未定だが、国の補助金対象になる。

みなさんからの 請願・陳情・要望のゆくえ

◎2009年度葉山町教育予算大幅削減の見直しを求める請願	採	択
◎「地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政処置を政府等に求める意見書」の採択を求める陳情書	採	択
◎「原油・肥料・飼料高騰」並びに「平成21年度税制改正」に関する陳情	採	択
◎議会基本条例制定にあたり、検討段階から町民参加を求める陳情書	不採	択
◎葉山浄化センター委託協定の実施の延期を求める陳情	不採	択
◎真名瀬漁港整備に関する陳情書	採	択
◎真名瀬漁港環境整備に関して議会に厳正なる審議を求める陳情書	採	択
◎医療費助成制度に関する県への意見書提出を求める陳情	採	択
◎葉山町における医療費助成制度拡充に関する陳情	採	択
◎要望書2件		机上配布

◆◆◆ なお継続して審査します ◆◆◆

- ◎所得税法56条廃止の意見書を国に上げることについての陳情
- ◎「議会基本条例」について町民との意見交換を求める陳情
- ◎「真名瀬漁港再整備事業全般の施設検討委員会公募及び設置」お願いの陳情
- ◎真名瀬漁港再整備事業計画にある遊歩道の建設推進に関する陳情書
- ◎ゼロ・ウェイスト宣言を行わないことに関する陳情書
- ◎陳情書（ゴミ問題・ゼロ・ウェイスト計画採用の危険性のこと）
- ◎議会自主提案による報酬削減を求める陳情
- ◎葉山町公共下水道葉山浄化センター運営について第三者機関検証を求める陳情
- ◎ごみの発生抑制、減量化、資源化を進める施策として「葉山町ゼロ・ウェイスト計画」の実施とその実施宣言を求める陳情
- ◎2市1町ごみ処理広域化と自区内処理の事業計画との比較を早急に町民に説明することを求める陳情書
- ◎葉山町ごみ処理の現状及び20年度以降のごみ処理事業計画について早急に町民に説明することを求める陳情書
- ◎ゴミ処理に関する陳情
- ◎「神奈川県公共施設における受動喫煙防止条例（仮称）」骨子案に対し意見書の提出を求める陳情
- ◎20年1月に予定されているゼロ・ウェイスト宣言を行なわず具体的なごみ減量策を町民にしっかり説明することを求める陳情書
- ◎横須賀市及び三浦市の損害賠償請求にかかる町費の支出を承認しないよう求める陳情書
- ◎町職員の給与削減を進言することを求める陳情

地方自治法第99条の規定により意見書を提出しました

◎紙面の都合上、内容は要約させていただいております。

農業経営者への生産資材価格高騰対策及び相続税課税強化の阻止を
求める意見書

農業経営は今までにない危機的な状況に置かれている。
また、政府・自民党税制調査会において示された、相続税の課税
強化は、今後の農業経営の存続に重大な影響を及ぼすものと考えら
れる。

よって、国におかれては、生産資材価格の高騰で苦境に立つ農業
の経営安定策を早期に措置し、安定的かつ継続的な農業経営の確保
に向け、拙速な相続税の抜本的見直しは行わないよう強く要望する。

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、
農林水産大臣
平成20年12月5日 葉山町議会

地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政措置を
求める意見書

1、被害情報の集約体制を強化し国と地方のネットワークを構築し、
消費者の苦情相談が地方自治体の消費者相談窓口において迅速かつ
適切に処理ができるよう、消費生活センターの設置、業務、機能等
を法的に位置づけ、必要な法制度を整備すること。
2、地方消費者行政の体制・人員・予算を拡充・強化するための財
政措置をとること。

平成20年12月5日 葉山町議会
提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、
消費者行政推進担当大臣

医療費助成制度の補助金削減撤回を求める意見書

県は今年10月より小児・重度障害者への一部負担金と、重度障
害者への年齢制限を導入し、市町村に対する補助金を大幅に削減
したが、地域の子育て世帯や障害者の方が安心して必要な医療を
受けられる機会を保障することは、県・市町村双方の役割である
と考える。

市町村が安定的・継続的に事業を実施できるよう、重度障害者
医療費助成制度の市町村に対する補助金の削減を撤回するよう要
望する。

平成20年12月16日 葉山町議会
提出先 神奈川県知事



真名瀬海岸

質問

いっぱん

質問者の提出原稿（11字×50行）を基に編集しています

森 勝美

子どもの成長にあわせた小・中一貫校が必要では
教育長 6・3・3制を維持し発展させる



問 新型インフルエンザ

が感染発生直前と言われている。初動対応のマニュアルをつくるべきでは。

町長 指導マニュアルは

合非常事態宣言をし、人の集まる場所は閉鎖する。
問 救急出動に当たる消防職員のワクチンは。
消防長 ワクチンはしてないが感染防止用資機材は準備がある。
問 新型インフルエンザの学校での対応は。
教育長 文科省から県に具体的指示はないが検討

の必要がある。
問 メタボリックシンドロームの早期発見のための特定検診の実施状況は。
保健福祉部長 千人受診し、160人に指導している。
問 医療費抑制にジェネリック医薬品の普及を。
保健福祉部長 国民健康保険加入者にはPRしている。

問 文科省の調査では児童生徒の暴力行為が平成19年度は過去最多となったようだが要因は。
教育委員長 社会の変化や経済状況など複合的な要因が考えられるが、未然に防止できるよう日常の教育実践を充実させる。
問 現在の子ども成長にあわせた小・中一貫校が必要と思うが。
教育長 県で中・高一貫校を来年導入の動きがあるが、基本的に現在の6・3・3制を維持し発展させていく。

問 スクールカウンセラ



の役割が重要では。
教育長 臨床心理士を配置し児童生徒、教職員、保護者にも助言している。

伊藤友子

町長 最善策を検討中
お年寄りや弱い立場の人たちには遊歩道を



問 葉山町が水源地の水

と土地を利活用するためには、町長が宮内庁から正式に承諾を得ることが先決と考える。また水質等の調査費の計上を望む。

町長 宮内庁が所有する土地は約7千坪ある。11月6日、現地を見た。土地や水の積極的活用となると相当の財政的裏付けが必要。財源を見ながら調査費計上を検討したい。

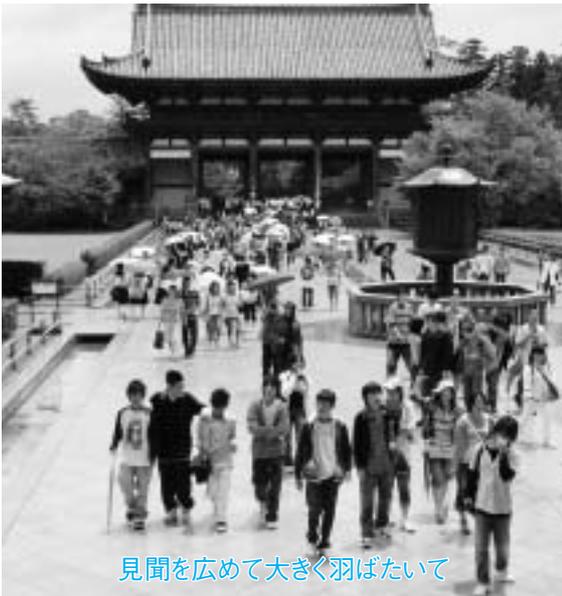
問 生きがい事業団の課題点と今後の改善策は。
町長 会員及び作業責任者との連携や調整を密に

したい。町としても必要な支援をしていく。
問 去る11月21日、真名瀬漁港の環境整備は「養浜」で行うと町長から議会に説明があったが、根拠も数値も理由もまったくなく、遊歩道の代替案としてはお粗末と思うが。
町長 たたき台を示した

の案が出てよいと思う。
問 遊歩道が欲しいと思っっている町民も居る。お年寄りや障害者等弱い立場の人たちに味方すれば遊歩道を造るべきでは。
町長 遊歩道反対もあるし補助金問題もある。最善策を日夜検討している。
問 21年1月にゼロ・ウェイスト宣言をするのか。
町長 町民にごみゼロを

まです。検討委員会で別

知ってもらい、町全体の機運を高めるのが先決なので、宣言はまだしない。
問 ごみ処理費削減のために、ごみ搬出業者の随意契約を見直すべきでは。
生活環境部長 排出者責任という観点から随意契約がかなりあるが、今後は見直しを検討したい。



見聞を広めて大きく羽ばたいて

近藤昇一

住宅用防災機器設置補助制度の新設は

町長 安心・安全のまちづくりの観点で検討したい



葉山でも検討すべきではないか。

町長 安心・安全のまちづくりの観点から大変重要な問題だ。予算の絡みもあり、検討したい。

問 小規模社会福祉施設では、スプリンクラーの設備、自動火災警報設備、火災通報装置の設置が義務付けられる。しかし、

個人住宅や小規模社会福祉施設で、住宅用防災機器の設置が義務付けられた。他自治体では65歳以上のひとり暮らし等や難病患者などの家庭が設置する場合に助成制度を設

設備投資までなかなかで

けないのが実態だ。町として制度を新設し設置を誘導すべきでは。

町長 消防、福祉と連携し、補助や融資制度を検討したい。

問 枠配分方式予算編成は、これまで財政課が行

待 寺 真 司

教育費枠内予算15%カットをどう思ったか
教育長 全く予測していない数字で非常に厳しい



な予算配分を考える。

問 なぜ、教育費も一律15%の枠配分にしたのか理解に苦しむが、教育予算には特段の配慮を。

町長 そのような考え方で進める。

問 この国の未来を考えると、公教育の役割が重要だ。町の財政事情を理由に、経済的支援や子ども達の活動助成等事業費を削ってはいけない。

教育長 9月に校長会や

精査を加えていきたい。

問 情報公開条例制定に向けた取り組みは。

町長 公文書公開条例を見直すため、町民参加による情報公開制度改正検討委員会を設置し、パブリックコメントも行った。

来年度に提案したい。

職員団体から要望を受けている。それらを裏付けて予算獲得が必要であり、相当な覚悟で頑張りたい。

問 災害復旧工事等災害協定を結んでいる、町内土木建築業者の保護策を強化すべきと考えるが。

町長 安心・安全が町の基本であるから、充分配慮した政策が必要だ。

問 落札業者の倒産による不利益を被らないように、低価格入札の調査制

度の運用を厳しくしたり、入札制限最低価格を設けてダンピング競争に一定の歯止めが必要と思うが。

町長 低価格調査の基準が甘いという点もあるが、企業の経営の実態を把握しながら条件の中に加えることも大事だと思う。

総務部長 町の運用の中で最低制限価格は設けることができる。今後の検討課題としたい。

度

度

度

度



火災警報器

佐野司郎

税、料金などの不払いへの対応は
総務部長 さらに厳しくしていかなければならないだろう



問 元逗葉新道沿線地域への取り組みは。

町長 県道と町道の道路網を確立し、道路整備を計って、財源としても、計画的に土地利用をどう誘導していくか深く掘り下げて検討してゆく。

問 川久保交差点から葉桜入り口への町道拡幅は。

町長 地権者の一部の方と用地交渉が難航している。全力で交渉

問 都市経済部長

町長 従前から町民の要望もあり、その必要性は充分認識しているが、優先度や財政面から実現は

問 路線バス完全運行の見通しは。

町長 次年度の早い時期に停留所が供用開始になる。付近の住民の利便の助けになると思う。

問 市街化調整区域線引きの大幅見直しは財政的に見地からも必要では。

町長 今後人口減少社会が到来することが確実に、難しいというのが県の考

指定促進は。
町長 危険区域の指定、崩壊対策工事を行行政センターとのコミュニケーションを図りながら県に要望していく。
問 町長の公約を支持しなかった町民の意見への対応は。

町長 謙虚に耳を傾ける。議員さん以上に意識するのが町長の立場だ。

問 食堂業者へ町の方針を説明し協力をお願いを。

町長 今後、業者と話し合い、検討する。

問 各小学校に給食残渣処理のため31個のコンポストを設置したが現状は。

町長 各小学校の現状を学習し、子ども達一人ひとりがごみ対策を自覚できるように指導している。

学校トイレ清掃委託費は

金崎ひさ 教育部長 19年度決算で約318万円



問 月4回の清掃を委託するより、教育的観点からも児童・生徒及び教職員で行うべきではないか。

町長 トイレ改修を契機に、自分の家の感覚で自らきれいに掃除ができればいいと考えている。

問 ゼロ・ウェイスト宣

言は時期尚早だが、ごみの資源化・減量化のために収集方法の抜本的見直しは是非必要だ。町民に協力依頼する前に町全職員が一丸となるべきと思うが協力体制を伺う。

生活環境部長 まだ全職員には周知していないが、これから進めていきたい。

問 庁舎内食堂等から出る生ごみの処理は。

生活環境部長 クリーンセンターで焼却している。

え方である。そこに住まう人の意識も考えなければいけない。

問 町長の公約を支持しなかった町民の意見への対応は。

町長 謙虚に耳を傾ける。議員さん以上に意識するのが町長の立場だ。

問 食堂業者へ町の方針を説明し協力をお願いを。

町長 今後、業者と話し合い、検討する。

問 各小学校に給食残渣処理のため31個のコンポストを設置したが現状は。

町長 各小学校の現状を学習し、子ども達一人ひとりがごみ対策を自覚できるように指導している。

問 各種補助金の厳格な見直しについて。

町長 21年度予算は厳格な見直しを行った上での補助額を計上する。

問 ゼロ・ウェイスト宣

言は時期尚早だが、ごみの資源化・減量化のために収集方法の抜本的見直しは是非必要だ。町民に協力依頼する前に町全職員が一丸となるべきと思うが協力体制を伺う。

生活環境部長 クリーンセンターで焼却している。

問 庁舎内食堂等から出る生ごみの処理は。

生活環境部長 クリーンセンターで焼却している。

問 庁舎内食堂等から出る生ごみの処理は。

生活環境部長 今後、堆肥の使い道なども含めて

問 各種補助金の厳格な見直しについて。

町長 21年度予算は厳格な見直しを行った上での補助額を計上する。



改装された学校トイレ



元逗葉新道歩道工事現場

加藤 清

臨時議会の開催の考えは

町長 両市の対応を見極めていく



問 損害賠償の請求提訴が、横須賀・三浦両市議会に議案として上程されていることを知っているか。また、提訴された場合の対応を伺う。

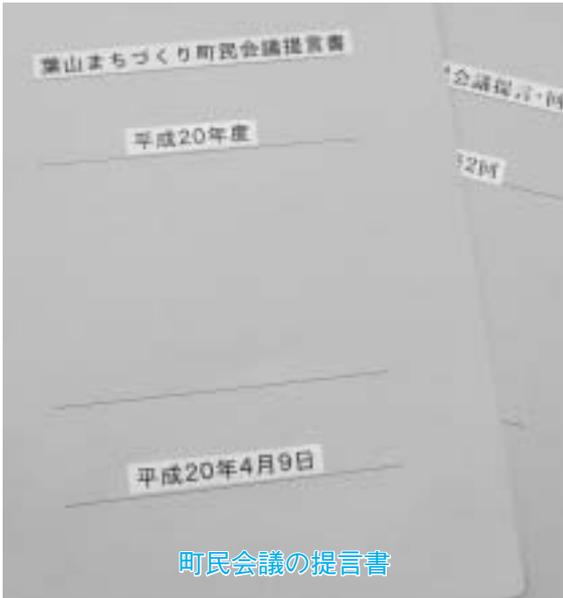
町長 上程される議事日程は、今のところ承知し

問 損害賠償の請求提訴が、横須賀・三浦両市議会に議案として上程されていることを知っているか。また、提訴された場合の対応を伺う。

町長 非常に大きな問題であり、横須賀市・三浦市対応の仕方を見極めてから方向付けていく。

問 稼働中の焼却炉は老朽化し、環境の面からも新しい小型の焼却炉が必要であるが、この建設の

町長 非常に大きな問題であり、横須賀市・三浦市対応の仕方を見極めてから方向付けていく。



町民会議の提言書

町長 確かにそういう考えを伺う。

町長 確かにそういう考えを伺う。え方、意見もあるが、とにかくゼロを目指し徹底していくには、焼却炉を

町長 非常に大きな問題であり、横須賀市・三浦市対応の仕方を見極めてから方向付けていく。

阿部勝雄

町民会議の提言への具体的施策は 町長 提言を仕分けし専門家も入れて仕上げる



問 漁港区内の海浜部を

都市経済部長 全面改修

町長 養浜にこだわって、

相談がある。部分改修で

町長 養浜にこだわって、検討を深めていくことでなく、私のたたき台として出したものである。

町長 造って10年後に要

町長 真名瀬漁港の船揚げ

一部改修でも、水産基盤

町長 真名瀬漁港の船揚げ

のストックヤードマネジ

町長 真名瀬漁港の船揚げ

メントが使えると思う。

問 任期後も続けるのか。

町長 75歳以上で生活習慣

町長 21年6月で任期満了。方向性を考える。

問 可燃ごみの民間委託

町長 特定健診受診状況は。

町長 可燃ごみの民間委託

町長 10月末現在約千名

町長 可燃ごみの民間委託

町長 目標53%に届かない。

町長 可燃ごみの民間委託

町長 保健福祉部長 保健福祉部長

町長 可燃ごみの民間委託

町長 未達成加算金を活用

町長 可燃ごみの民間委託

町長 自治基本条例など

町長 可燃ごみの民間委託



問 ごみを作らないことが大事。ごみを作らないことも盛り込んでほしい。

町長 ごみを家庭に持ち込まないよう、スーパ

町長 可燃ごみの民間委託

町長 可燃ごみの民間委託

町長 可燃ごみの民間委託

町長 可燃ごみの民間委託

町長 可燃ごみの民間委託

町長 可燃ごみの民間委託

畑中由喜子
町長 厳しい状況だが可能性はあると認識している



主馬寮跡地の取得に向けてできる限りの努力を

況だが、決して不可能と決断した訳ではない。

問 長者ヶ崎町有地、旧役場跡地、堀内防災広場の現況と管理、今後の利活用を

問 主馬寮跡地の取得に向けて、地元の方々を含めた検討委員会等でできる限りの努力をしてみるべきではないか。

どのように考えるか。国交省に身近な公園を防災拠点にする補助金がある。工夫してはどうか。

町長 住民の熱意と要望は強く感じている。資金エンザの脅威が高まって手当て等、より厳しい状況

にある。万一に備えるべき。



し尿焼却処理施設

生活環境部長 2月ごろに

問 いつごろの予定か。

生活環境部長 今年度、基本設計を業務委託している中に場所の選定も含まれている。まだ決まっていない。

問 下水道投入施設の場所の選定は。



伊東圭介
町長 来年度に実施設計、24年度投入開始を目指す

し尿・浄化槽汚泥の下水道投入施設の進捗は

町長 国・県の新型インフルエンザ対策行動計画をもとに、市町村の役割等について検討していく。一番大切なことは国・

問 真名瀬漁港管理条例の放置ボートに対する猶

県・医師会等と連絡をとり、町民に対し正確な情報を提供することと思う。

あつた穴埋めは既に終了している。

町長 プレジャーボートは漁業区域内の放置を禁止し、適正な保管場所での管理を告知している。組合員所有の漁船は船揚げ場に移動するよう漁組を通じて指導している。

問 委託することにより現在の処理方法と運搬コストも含めて比較するところが。

主馬寮跡地

は、決定したい。それ以降にその地区の住民に説明会等を実施する予定だ。

問 投入量が施設規模に影響するのではないか。

問 現在の重油で焼却する処理方法は、環境面からもコストの面から、すぐに止めて24年までの3年間に限り委託等の方法も考えられるが。

生活環境部長 実績から判断すると年間約1万キ

生活環境部長 現在、他の団体・民間業者も含めて委託化する方向で検討

している。可能であれば、来年度から委託して処理

思っている。

生活環境部長 現在、他

・財政運営について

問 町長の公約である下水道計画の見直しの内容

から判断すると投入量は、

「町長と語ろう！」の総括について

水道計画の見直しの内容から判断すると投入量は、

急激に減らないと思うが。

「町長と語ろう！」の総括について

急激に減らないと思うが。

来年度から委託して処理

している。可能であれば、

生活環境部長 投入施設の

来年度から委託して処理

している。可能であれば、



児童館にて

守屋 亘弘

現時点の職員総数は
町長 一般職員等 348人



問 現時点のアルバイト職員等を含めた職員数は。
町長 現時点で一般職員280人、再任用職員10人、非常勤職員57人、その他県からの派遣職員1人の合計348人。アルバイトについては各課でそれぞれ283人以下にするというこ

れ個別に雇用しており、雇用形態もさまざまゆえに、人数としての把握は困難だ。

問 平成17年度〜21年度間の集中改革プランでは職員を283人以下にする

があるが。
総務部長 葉山町職員定数条例では定数は321人となっている。集中改革プランで21年度に全職員を283人以下にするというこ

とである。

問 平成19年度のアルバイト職員等を含めた人件費総額は。
町長 19年度決算では町長等、議員、常勤特別職を除いた人件費合計は約27億8千万円、アルバイ

ト職員等を含めた人件費総額は。約27億8千万円、アルバイ

鈴木道子

「構想日本」主催の「事業仕分け」実施を
町長 必要だ。21年度には本格的に研究する



問 「事業仕分け」の実施を提案する。これは国や地方自治体が行なっている行政サービスの必要性や実施主体について予算書の項目ごとに公開の場で、外部の人が議論し、仕分けしていくものだ。職員の意識改革にもつな

がる。財政の厳しさを増す当町でも実施すべきだ。現在は既に37自治体の実施結果を予算編成に反映させ約1割の削減ができた例もある。県下でも7自治体ほどが実施して大磯町は2回も実施している。実施できないか。
町長 必要な作業と認識している。21年度には本格的に研究する。
問 全国学力学習状況調査の結果について伺う。

教育長 公表はしない。
問 日常の授業の状況について伺う。
教育長 ごく一部に問題や課題を抱えた子がいるが、教員が必要に応じてきめ細かく対応している。
問 文科省は米飯給食を週4回にする方針だが。
教育長 まず週3回に向けて努力していく。
問 一時保育の状況は。
町長 利用希望が多く抽選会を開き予約をとって

いる状況だ。
問 緊急性がある場合は町立保育園が満員の時、「ほけつと」での保育料に補助金等の対応をすべきではないか。
保健福祉部長 今後研究していく。
その他の質問 省エネ診断の取り組み・太陽光発電設置と普及・ゼロウェイスト・養浜について



委員会 レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています

総務建設

『原油・肥料・飼料高騰』並びに『平成21年度税制改正』に関する陳情

農業経営が安定的・継続的にできるよう、原油・肥料・飼料高騰対策及び販売価格対策の施策化、都市農業の生産基盤維持に、農地の相続税納税猶予の堅持など、国等関係機関へ意見書の提出を求めているものです。

の結果、全会一致により採択し、意見書を提出すべきものと決しました。なお、町の農業政策に関して、所管事項調査を行うことを確認しました。

「真名瀬漁港整備に関する陳情書」・「真名瀬漁港環境整備に関して議会に厳正なる審議を求め陳情書」

一括審査として、真名瀬漁港の現地踏査及び漁業協同組合関係者と意見交換の場を設けました。建設から40年以上経ち、経年劣化の目立つ船揚場の整備等には広く漁業関係者・町民から公募する検討委員会で審議し、予算面では真名瀬漁港再生事業の適用を考慮するよう求めているものです。

委員からは、安全に操業できる環境の整備は必要であり、町単独事業としてでも順次計画的に整備を行うべきとの意見がありました。なお、補助金の検討、漁業関係者と町の意志疎通、指定管理者制度を正しく理解して

もらうことなどの要望がありました。採決の結果、両陳情は全会一致により採択すべきものと決しました。

「真名瀬漁港放置ポイントについて」
○前副町長の海浜占用問題について
○長者ヶ崎の町有地について

委員待 真司

『地方消費者行政の抜本的拡充に必要な法制度の整備及び財政処置を政府等に求める意見書』の採択を求める陳情書
政府が進めている消費者行政一元化・強化の推進を踏まえ、必要な法整備と財政措置を求め国等に意見書の提出を求めているものです。

教育民生

一元化を図り法整備するべきであるとの意見と、趣旨は理解できるが意見書の提出は必要ないとの意見がありました。採決の結果、賛成多数により採択し、意見書を提出すべきものと決しました。

「葉山浄化センターの委託協定の実施の延期を求める陳情」

すでに可決されている「葉山浄化センター建設工事委託」を延期すること。汚水処理施設整備交付金制度を活用し地域再生計画を策定すること。第三者専門機関に浄化センター運営について検証させ追加工事の必要性の再検討と維持管理方法の適正化を町長に求めているものです。

審査の中で、継続を求める意見がありました。採択しその判断を町長に委ねるべきであるという意見と、すでに審議し議決した案件であるので止める必要がないとの意見があり、採決の結果、賛成少数により不採択す

べきものと決しました。なお、委員会として下記の意見を付記しました。
1、地域再生計画の策定を早急に検討すること。
2、浄化センターの処理能力等については説明できるよう検証すること。

2009年度葉山町教育予算大幅削減の見直しを求める請願

税金の減少を理由に、全庁的に今年度予算に対し15%を削減する2009年度予算編成方針が提示されました。これでは、今まで積み上げられてきた教育活動が不十分なものとなり、教育水準が低下し、ゆきとどいた教育を保障できなくなりま

す。今回の予算方針にとらわれず、十分な教育予算の確保に努めるよう求めているものです。

委員からは、厳しい財政状況ではあるが15%削減されれば教育水準の低下が危惧される。また、教育予算は枠配分予算編成になじまないのので今後は、見直すべきであるとの意見がありました。採決の結果、全会一致で採択すべきものと決しました。

医療費助成制度に関する県への意見書提出を求める陳情

県は20年10月から小児・ひとり親・重度障害者医療費助成制度への一部負担金導入及び重度障害者の65歳以上の新規対象者除外を強行しました。この制度変更は、安心して必要な医療を受けられる機会を保障する役割を放棄し、市町村へ財政負担を押し付けるものです。よって、県の補助金削減を撤回し元の補助額に戻すよう、意見書の提出を求めているものです。

審査の中で、担当課からは、児童・生徒の学習に影響を与えないよう配慮しつつも、15%削減に近づけた予算を作成したとの説明がありました。審査の中で、この制度は、反対意見を押し切つて導入された経緯があり、



現在は、町単独事業として一部負担金の補填をしています。これは、市町村に財政負担を強いられるので、従前に戻すべき意見書を提出すべきであるとの意見がありました。採決の結果、全会一致で採択し、意見書を提出すべきものと決しました。

葉山町における医療費助成制度拡充に関する陳情

前項の陳情と同趣旨であり、葉山町においても来年度も一部負担金導入を行わず、無料を堅持すること。また、重度障害者医療については、所得制限及び65歳以上の新規対象者除外を行わないよう求めているものです。

審査の中で、担当課からは、現段階においては今年度と同様に考えているとの答弁がありました。委員からは、陳情を採択し議会も後押しすべきとの意見があり、採決の結果、全会一致で採択すべきものと決しました。

所管事項調査

○「葉山はばたき」作業所の改修について
 ○出産育児一時金の改定について
 ○国保料賦課割合変更(案)について

委員長 伊東 圭介

議会運営

11月10日 継続審査と なっていた陳情2件を審査しました。「議会基本条例」について町民との意見交換を求める陳情は条例制定が進行中というところで継続審査となりました。「議会基本条例制定にあたり、検討段階から町民参加を求める陳情」は全て白紙に戻し検討し直すのは現実的でないなどとして、不採択と決しました。また、議会基本条例の素案について意見を出し合い、委員会の案として逐条説明を付けることになりました。

11月18日 沖繩中部地区町村議長会から「議会活性化について」の行政視察を受けました。

11月28日 第4回定例議会の運営について、議事日程、請願陳情の付託などを協議、決定しました。平成21年度議会費当初予算について協議しました。基本条例制定について今後の日程を提示、確認しました。

12月11日 更に提出された陳情2件について閉会中の審査付託を協議決定しました。「議会自主提案による報酬削減を求める陳情」等を審査し継続審査となりました。議会基本条例逐条説明付き素案について議論しました。

12月16日 新陳情1件を閉会中の審査付託に協議決定しました。

委員長 佐野 司郎

政治倫理

NPO法人葉山町民オンブズマン理事から、森議員に対して、平成20年9月16日付けで、調査請求書が提出されました。森議員が新聞各社に送付した「辞職しない」という意思表示のFAX内容とプロセス、並びに従来議会において一貫して反対してきた議案の肯定等の言動は、夫である森町長の施策に無条件に賛成する行為は議員として倫理性に欠け、葉山町議会議員政治倫理条例に抵触するといふものです。

審査にあたっては、11月10日に森議員から弁明を聴取し、また、11月25日には調査請求人から意見聴取を行いました。夫婦は人格は別というが、事実上は一体であり、町民に約束違反を行い、議会に迷惑を及ぼしている以上、条例の規定に反しているという意見もありました。一方、条例自体が今回のような事例を

ごみ問題特別

想定しておらず、請求者の気持ちは十分理解できるものの、あえて判断を求められるならば抵触しないという意見が大半を占めました。

抵触はしないとしながらも、こうした請求をはじめ、町民から問題視されること自体、議員としての資質に問題があることや、法的に制限はないものの、二元代表制のもと、執行機関に対する監視機能を果たさなければならぬ議員が現職に留まっていることこそ問題であるとの意見及び、約10カ月間の言動に鑑み、自らを律するべきとの意見を踏まえ、森議員に対し、町民の信頼に値する倫理性を自覚し、町民に対して自ら説明責任を果たし、高潔性を明らかにするとともに、町民の信任を受けて活動する議会の議員として、応えるべき行動をすることを強く要望しました。

委員長 加藤 清

11月25日、ゼロ・ウェイスト計画骨子案について担当部局の説明を受け質疑しました。今後引き続き各党派・個人で質問を提出することとし、担当課からの回答を得て、21年1月に委員会を開きます。なお、ゼロ・ウェイスト宣言については、町民の意識高揚が先決として、改めて宣言の時機を決めるとのことでした。

また、今定例会にごみ処理に関して6件の陳情が出され、一括審査しました。ゼロ・ウェイストの賛否両論でごみに対する意識の高さを感じさせました。陳情は継続審査となりましたが、反対論の陳情者が葉校地域に多く集中していることは、周知の度合に違いがあるのか、今後、広報の必要性を感じます。

委員長 阿部 勝雄



地域活動を訪ねて③

広報特別委員会として、地域の町内会などの活動取材し、シリーズでお知らせをいたします。

今回は木古庭町内会をお訪ねしました。

木古庭福祉委員会

木古庭福祉委員会は、平成14年に小地域福祉活動を推進するために町内会をはじめとする地域で活動する団体やボランティアが集まり設立されました。設立当初は、町内会や子ども会などの活動への支援や援助を中心に行っていました。

活動の転機となったのは、今後の活動や地域の課題解決を目指して、地区全戸にアンケート調査を実施したことにより、多くのボランティアの乗り出があり、地域住民の福祉に対する意識の高さを確認できたことです。また、住民からは、「高齢に対する不安」や「子育て支援」に関する声が多く聞かれ、その課題をどう解決していくかが委員会としての使命であり、全員で考えるきっかけになったとのことです。

ちに住民が地域で孤立しないためにも地域に人が集える場所づくりが必要で、町内会館を利用しての「木古庭ゆめサロン」事業を毎月28日に実施することになりました。

その後、アンケート調査でも要望があった子育て支援としての「食育親子サロン」や独居高齢男性の食生活の改善を目的とした「男の料理教室」を行っていきます。その他にも地域交流の「お花見会」や広報紙の発行、先進地の視察など様々な事業を積極的に展開しているとのことでした。

木古庭パトロール隊

委員長の鹿島忠夫さんは、「信頼関係の福祉・地域づくり」をスローガンに誰もが孤独にならない地域を目指したいと抱負を語っていました。

委員長の鹿島忠夫さんは、「信頼関係の福祉・地域づくり」をスローガンに誰もが孤独にならない地域を目指したいと抱負を語っていました。

人的に日常生活の中で腕章等を着けて行っていました。

しかし、昨今の車上あらし、空き巣狙い、子どもに対する声かけ事犯の増加があり、対策として組織的に防犯活動を行う必要性を感じて昨年4月に町内会の総会においてそれまでの防犯部を防災・防犯部に改め、防犯に関する活動を新たに実施し、安心・安全なまちづくりを目的とした「木古庭パトロール隊」が発足しました。

現在、月2回昼間と夜間に2〜3班編成で各地区を巡回しています。パトロール開始前には、注意事項等を確認し、終了後にはミーティングを行い様々な問題点を報告しあい情報を共有しているそうです。地域の特性もあり、危険箇所や不審者、不審車両の情報だけでなく防犯灯の電球切れやゴミの不法投棄なども報告事項として行っているとのことでした。毎回15人前後のメンバーが参加し活発に活動されています。

これらの活動が評価され平成20年度「交通安全と地域安全の町民総ぐるみ大会」にて団体表彰されました。

今後とも地域の安心・安全のために、なお一層のご活躍を期待します。



教育民生常任委員会行政視察報告

1 視察日

平成20年11月13日(木)

～11月14日(金)

2 視察地及び視察目的

(1) 吉野ケ里歴史公園
「吉野ケ里遺跡の保存及び活用について」

(2) 福岡県三潴郡「大木町のごみ政策について」

3 視察者

・伊東圭介・山梨崇仁・金崎ひさ・阿部勝雄・佐野司郎・鈴木道子・中村常光・守屋巨弘・(議事事務局 高橋孝行)

4 視察概要

視察第1日目には、吉



大木町にて

野ケ里歴史公園として整備されています。現在は、面積約69ha(国営公園約38ha、県立公園約31ha)が開園しています。

吉野ケ里歴史公園には開園以来、延べ約38万人の来場があり、特に学校での歴史文化を学ぶ場としての見学が多く、年間1000校もあるそう

です。今年度の国営吉野ケ里歴史公園の全体予算は、17億円強の予算を計上し、その内維持管理費は、約4億8千万円であるとのことでした。

視察第2日目には、福岡県大木町のごみ政策について視察しました。大木町では、平成18年10月まで生ごみは大川市清掃センターで焼却し、尿や浄化槽汚泥は海洋投棄を行っていましたが、平成19年1月までにし尿や浄化槽汚泥は海洋投棄禁止になるといことで、早急な施設整備の必要性が迫られていました。

住民が環境問題に対する関心が高かったという経緯から、平成7年に町内全行政区(49行政区)における資源ごみの分別収集が行われました。また、家庭や事業所から廃食用油を回収し、BDFプラントにより軽油代替燃料として、ごみ収集車や農業トラクターの燃料として利用しています。

です。

今年度の国営吉野ケ里歴史公園の全体予算は、17億円強の予算を計上し、その内維持管理費は、約4億8千万円であるとのことでした。

視察第2日目には、福岡県大木町のごみ政策について視察しました。大木町では、平成18年10月まで生ごみは大川市清掃センターで焼却し、尿や浄化槽汚泥は海洋投棄を行っていましたが、平成19年1月までにし尿や浄化槽汚泥は海洋投棄禁止になるといことで、早急な施設整備の必要性が迫られていました。

住民が環境問題に対する関心が高かったという経緯から、平成7年に町内全行政区(49行政区)における資源ごみの分別収集が行われました。また、家庭や事業所から廃食用油を回収し、BDFプラントにより軽油代替燃料として、ごみ収集車や農業トラクターの燃料として利用しています。

活用が構想に上がりました。平成14年度に大木町の「循環のまちづくり」ビジョンが策定され、平成17年2月には、循環の町づくりビジョンで定められた4つの視点に基づき、「大木町バイオマスタウン構想」が公表され全国で最初に認定されました。平成18年11月には、大木町バイオマス構想の中核施設として「くるるん」が完成しました。「くるるん」では、生ごみとし尿や浄化槽汚泥を回収しメタン発酵させて、バイオガスと液肥を作っています。バイオガスについては、施設内の電力と給湯に使用し、液肥は農家に還元され水稲(米)や野菜等の肥料として使用されています。また、家庭や事業所から廃食用油を回収し、BDFプラントにより軽油代替燃料として、ごみ収集車や農業トラクターの燃料として利用しています。

ごみは、全部で20分別をしており現在、紙おむつの資源化やプラスチックを油に変える研究もしているとのこと。生ごみ分別収集は、バケツコンテナ方式で、週2回の収集をしています。

このような方法で推進する中、家庭からの燃やすごみが平成17年度比で、19年度は44%の大幅削減され、処理費も2千万円の節約になっているとのこと。

平成20年3月11日に「ごみの焼却や埋め立てを2016年度までになくすことを目指す」「もったいない宣言(ゼロ・ウェイスト)」を議案で提出し、議会本会議にて全会一致で採択されました。同様の宣言は徳島県上勝町に続き全国で2番目になるそうです。担当者は、10年後には「ごみ」の焼却や埋め立て処分をしないということについて十分可能であると自負しておりました。

表紙説明

富士山に見守られながら今年こそと、大物をねらう太公望。釣果はともかくこの雄大な風景の中に身をおくだけで「幸福をかみしめている」というのが実感では。

正月の一色海岸にて



吉野ケ里歴史公園

県町村議会議員研修会

平成20年11月12日、愛川町で県町村議会議員研修会が行われました。県下の町村議会議員が一同に会し、今回は「果てしなき挑戦Ⅱ金メダルへの道」と題して、(財)日本体操協会で、副会長の塚原光男氏の講演を傾聴しました。

塚原氏のプロフィールは、メキシコ、ミュンヘン、モントリオールオリンピックへ3大会連続出場。体操・団体総合で3大会とも金メダルを獲得。日本オリンピック史上初の5大会連続金メダルという偉業に貢献しました。自ら編み出した、鉄棒の「月面宙返り(ムーンサルト)」や跳馬の「ツカハラ跳び」という独創的な大技によって、個人種目別競技でも2大会連続金メダルを獲得し、日本体操界の黄金期を支えました。

現役引退後は後進の指導にあたり、アテネオリンピックでは長男の直也選手を擁するチームで28年ぶりに団体金メダルを獲得、体操ニッポンが復活しました。

講演では、「勝敗を分けるものは何か」が中心でした。男子体操・団体総合で5連覇(1960年〜1976年)の偉業を成し遂げたエピソードを交え、「不断の努力と健康の大切さ」や「何事も諦めなければ、必ず目標は達成できる」など、

素直に認めた瞬間があったそうです。すると、いつもの自分に戻り、「しめた」と感じたそうです。競技が終了したら「助かった」と思わず声が出て、見事にプレッシャーをはねのけ、5連覇を達成したそうです。

手に汗するような体験談ですが、引き込まれるような素晴らしいお話でした。

また、当日は講演に先立ち、自治功労者表彰式が行われ、葉山町から鈴木木知一議員が表彰を受けました。

特に印象に残った内容は、オリンピック3回目のベテランとして参加した、モントリオールでの最後の競技の話です。想像を絶する重圧の中、弱い自分とベテランと言いつ聞かせる自分がいて、その葛藤の中、競技スタート間際5秒前に、「人間」というのは、プレッシャーがかかればこうなるんじゃないか、こんなものだよ」と、自分の弱さを

体験談を基に熱く語られ、今後の議員活動における教訓となる有意義な研修でした。

最後に、研修会に参加した、モントリオールでの最後の競技の話です。想像を絶する重圧の中、弱い自分とベテランと言いつ聞かせる自分がいて、その葛藤の中、競技スタート間際5秒前に、「人間」というのは、プレッシャーがかかればこうなるんじゃないか、こんなものだよ」と、自分の弱さを

素直に認めた瞬間があったそうです。すると、いつもの自分に戻り、「しめた」と感じたそうです。競技が終了したら「助かった」と思わず声が出て、見事にプレッシャーをはねのけ、5連覇を達成したそうです。

手に汗するような体験談ですが、引き込まれるような素晴らしいお話でした。

また、当日は講演に先立ち、自治功労者表彰式が行われ、葉山町から鈴木木知一議員が表彰を受けました。



表 彰

去る11月12日、鈴木木知一議員が神奈川県町村議会議長会笠原俊一会長より、多年議会議員として地方自治振興と議会運営に寄与した功績により表彰を受けました。

おめでとございます。

議会に町民の方から議員の報酬削減を求める陳情が提出された。この可否は今後の課題となるが、その中で議会だよりを編集しているひとりとして気になった一文があった。葉山町議員は他の市町と比べて抜群に出席回数が多いが、その中には議会広報特別委員会が含まれており、これは町政監視目的の本来の議員活動とはずれているとの御指摘であった。議会を全ての町民が傍聴して下されば議会だよりなどいらないと思う。しかし、それは不可能である。議会だよりを通して、議会内であったことを客観的に分かり易く報告することも、議員の使命と考え、年末年始もいとわず編集作業をしている。そのような議会だよりを読んでも下さる方がたくさんいることを望んでいる。

12月23日記 金崎 ひさ



町長行政報告

(1千万円以上
5千万円未満の契約)

- ① 葉桜緑地崩落対策工事 3774万5千円
- ② No.1〜4号炉枝煙道、天井部側壁部耐火物補修 1413万3千円
- ③ ごみ焼却処理施設焼却炉改修工事 3638万3千円

平成21年
第1回定例会は
2月24日(火)からの
予定です。
皆様の傍聴をお待ちしています。

- 議長 笠原 俊一
議会広報特別委員会
畑中由喜子 近藤 昇一
伊東 圭介 鈴木 知一
金崎 ひさ 山梨 崇仁
鈴木 道子 森 勝美